

令和4年

12月19日発行

21号

フィグスポ

フィグラール狭山FC

ジュニアユース

中学生・小学生スクール

「戦」

京都、清水寺の舞台にて今年の一文字が「戦」となりました。社会情勢から「国内外でのコロナとの戦い」や「他国での戦争やミサイル発射による不安」等が挙げられました。フィグラールでも「戦」は、いくつもの物語がありました。選手の「戦」についてご紹介します。

ジュニアユースでは、高円宮杯にてグループリーグを1位突破し、12月に行われたプレーオフでは3位となりました。フィグラールの近年の成績では、数年ぶりの結果となりました。今年の3年生と2年生を中心に勝ち上がることができました。また、U13クラブユース選手権サッカー大会では、5チームとの対戦でした。川越ジュニアユース選手と合同チームとして最後まで戦いぬくことができました。大会は、失点することが多かったですが、最後まで下を向くことなく戦いぬく事をテーマにして頑張りました。得点することもあり、失点より1点をみんなの力で勝ち取ったことが、選手にとって自信につながったことと感じます。また、各学年在籍の6割の選手が狭山市トレセンに所属し、各学年から1名の西部地区トレセンに選考されたことも、立派な「戦」です。ジュニアユース全員、それぞれの大会(公式戦)やトレセン活動において、様々な場所で、様々な場面で自分の力を発揮し、自分との「戦」に勝てたことと思います。

スクール活動では、毎週月曜日に小学生選手(1年生から6年生)が活動しております。「週に1回サッカーを通して体を動かし、友達や指導者と関わる力を養う」ことをもとにしています。お陰様で、スクール選手の在籍も増えてきました。これからも、「フィグのスクール活動で学んだことを少年団や学校生活で、発揮できるような指導を提供」できるようにしていきます。スクール活動においての「戦」は、自己の力を高め、友達と共に仲良く練習に取り組む事と考えます。これは、スクール選手全員、「戦」に勝てたことと思います。

令和4年も残り数日となりました。今年度は、コロナ感染拡大防止に努め、円滑なサッカー活動を行うことができました。令和5年も、選手が生き生きとフィールドで走れる環境を維持する事と選手の心の成長につながるサッカー指導を提供できるよう、指導員一同頑張っていきます。

最後にはなりますが、コロナとインフルエンザ、胃腸炎などが流行する季節になりますが、皆様にとってよい年末年始をお過ごしいただけますよう、願っております。引き続き、令和5年1月からどうぞ、よろしく願いいたします。

